

# 成果指標進捗状況一覧表

施策	成果指標	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	平成31年度目標値	達成状況
1-1 学ぶ力を伸ばす児童生徒の育成	全国学力・学習状況調査における県の平均正答率との差 ①小学校 国語A 国語B 算数A 算数B ②中学校 国語A 国語B 数学A 数学B	①小学校 国語A -1.9 国語B -1.2 算数A -2.2 算数B -1.6 ②中学校 国語A -1.8 国語B -1.8 数学A -2.1 数学B -2.6	①小学校 国語A -2.0 国語B -3.0 算数A -3.0 算数B -2.0 ②中学校 国語A -1.0 国語B -3.0 数学A -2.0 数学B -2.0			全調査種別について、県平均正答率との差を0とする
	1-2 心豊かな児童生徒の育成	「草加っ子の基礎・基本」における規律ある生活が定着している項目(80%以上)の数 不登校児童生徒の割合 ①小学校 ②中学校	①69項目 ②34項目 ①0.35% ②3.32%	①69項目 ②36項目 ①0.46% ②3.62%	①72項目 ②36項目	△ ▼
1-3 健康でたくましい児童生徒の育成	新体力テストにおける体力・運動能力が総合評価A～Eの5段階中C以上の児童生徒の割合 ①小学校 ②中学校	①79.4% ②82.6%	①80.8% ②82.0%		①80% ②85%	▼
	学校給食における市内産農産物の使用量(累計)	37t	76.6t		120t	△
1-4 きめ細かな特別支援教育の充実	教職員における特別支援教育に関する研修受講者の割合 ①小学校 ②中学校	①70.9% ②61.4%	①89.6% ②74.9%		①80% ②75%	△
1-5 一人ひとりに応じた就学支援の充実	入学準備金・奨学金貸付人数(新規・継続)	40人	30人		65人	▼
	入学準備金・奨学金返済率(現年度)	93.25%	95.53%		93%	○
2-1 計画的な学校教育施設整備の推進	屋内運動場天井等落下防止対策工事実施率	—	32.1%		100%	△
	トイレ改修工事実施率	20.3%	34.4%		62%	△
2-2 魅力ある教育環境の推進	西館利用者数(年度累計)	613人	599人		750人	▼
3-1 家庭・地域の教育力の向上	保護者向け「親の学習」講座の実施回数 ①小学校 ②中学校	①100% ②100%	①100% ②100%		①100% (21回) ②100% (11回)	○
	中学生向け「親の学習」講座の実施回数	36.4%(4回)	54.5%(6回)		100%	△
3-2 組織力を生かした学校経営の推進	学校評価におけるA評価の割合	45.7%	49.4%		40%	○
3-3 子ども教育の連携の推進	幼保小中を一貫した草加の教育の実施校数	—	28.1%(9校)		100%	△
	小学校と交流・連携が行われている幼稚園・認可保育園・認定こども園の割合	92.5% (49園)	94.3% (50園)		95%	△
4-1 生涯をとおした多様な学習機会の充実	生涯学習基本計画達成度 (第三次生涯学習基本計画の進捗状況調査による達成度)	—	93%		95%	△
4-2 生涯学習施設の整備とネットワーク化の推進	公民館利用者数	589,951人	587,899人		600,000人	▼
	市民1人当たりの年間読書量	4.69冊	4.60冊		5冊	▼
4-3 文化遺産の発掘・保存等の計画的継続的な取組の推進	歴史民俗資料館来館者数	15,471人	15,210人		17,000人	▼
	年間講座等(講演、講習、体験教室)開設数	72回	80回		70回	○
5-1 学校人権教育の推進	全国学力・学習状況調査の質問紙調査における「人の気持ち分かる人間になりたいと思いますか」という質問に「当てはまる」又は「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合 ①小学校 ②中学校	①95.5% ②95.8%	①95.6% ②96.8%		①95% ②95%	○
5-2 社会人権教育の推進	社会教育における人権教育事業参加者数	2,744人	2,693人		3,000人	▼

**【成果】**  
平成29年度末現在における成果指標の達成状況は、指標設定時の数値から平成31年度の目標値に向けて上昇しているものが9、目標値を達成しているものが5となっています。  
目標値を達成している指標のうち、特に、  
◆「入学準備金・奨学金返済率(現年度)」では、返済者の生活状況に配慮しつつ、長期滞納者を中心に積極的に返済勧奨を行うことで、一定の高い返済率を達成することができました。  
◆「保護者向け「親の学習」講座の実施回数」では、全ての小中学校で開催することができ、出席者の満足度も高いものとなっています。  
◆「学校評価におけるA評価の割合」では、平成28年度から目標値を上回る割合でA評価を受けており、保護者や地域の方々の意見を取り入れた、より良い学校づくりに向けた改善が進められています。  
◆「学校人権教育」では、各種研修会を開催し、教職員の人権意識の高揚を図るとともに、子どもたちの発達段階に応じた様々な取組を行い、人権意識の高揚に努めることができました。

**【課題】**  
平成28年度実績値から数値が下降している指標は9あり、そのうち2つは、生きる力の三要素のうちの「知」と「体」に関するものです。今後も引き続き、知・徳・体をバランスよく身に付けるための取組が求められます。  
以下、それぞれの項目について今後の課題を記述します。

**【学力の向上について】**  
今後も、基礎・基本の定着を継続的に図るとともに、知識及び技能、思考力・判断力・表現力、学習に向かう意欲を含めた学力の向上を目指し、「草加っ子の学びを支える授業の5か条」をもとに、授業改善に取り組む必要があります。また、子どもたちが自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的・協働的に探究し、学びの成果等を表現し、実践にいかす力を身に付けることのできる「主体的・対話的な深い学び」を実践する指導法の工夫が求められます。さらに、幼保小中を一貫した教育を通して、系統性を踏まえた児童生徒の学力の向上を目指す必要があります。

**【児童生徒の不登校について】**  
今後も、いじめや不登校等の問題行動の解消に向けて、各学校が組織力を高め、児童一人ひとりの個性に寄り添い、家庭との連絡を密に図りながら、必要に応じて教育委員会、市長部局、関係諸機関等と、連携・支援していく体制を強化していくことが求められます。

**【体力・運動能力の向上について】**  
今後も、体育の授業を中心に確かな技能の習得と体力・運動能力の向上に向けた指導の充実に努めるとともに、業前・業間運動の実施や「草加市中学校部活動の方針」にもとづく運動部活動の推進など、運動の習慣化を図るために各校の継続的な取組を支援する必要があります。また、幼保小中を一貫した教育を通して、系統性を踏まえた児童生徒の体力・運動能力の向上を目指す必要があります。

**【公民館利用者数・年間読書量について】**  
公民館などの生涯学習施設の利用者数や市民の読書量が下降傾向にあるため、計画的な施設整備を行い、魅力ある環境づくりに努めていく必要があります。

**【総括】**  
全体を見てみると、23指標中14の指標が目標値を達成あるいは目標値へ向けて上昇しており、基本理念である「生きる力を共に教え育てる草加の教育」の実現に向け、計画策定時から様々な施策を展開してきた成果が表れてきたことがうかがえます。その一方で、生きる力の三要素一体的にとらえた改善を図っていく必要があります。  
このことから、学力や体力の向上を図るための取組をより積極的に行い、知・徳・体のバランスを図っていく必要があると言えます。  
また、子ども教育の連携に関しては、幼保小中を一貫した草加の教育が平成29年度から順次実施され、平成31年度までに100%の実施を目標とします。さらに次の4年間では、これまでに育まれた力を社会や地域で発揮していくための、社会に開かれた教育課程の実現に資する取組を支援していく必要があります。それと同時に、家庭教育への支援を行いながら、地域や家庭との一層の連携により、取組の実効性を図っていく必要があります。  
社会教育では、生涯学習情報提供サイトの構築を始め、市民が主体的に生涯学習を行える環境づくりを着実に推進してきましたが、様々な世代に対する学習意欲に応えていくことが一層求められます。  
国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」を始めとする文化財については、今後も、市民共有の財産として将来にわたり保存・継承していくことを認識し、絶やすことなく後世に伝えていく取組を一層充実させていくことが必要です。  
人権教育では今後も、学校だけでなく、より多くの市民が人権の課題について考え、より身近なものとしてとらえられるよう、市民への周知活動等に取り組む必要があります。

△…成果指標のうち、指標設定時の数値から平成31年度の目標値を達成しているもの。  
○…成果指標のうち、指標設定時の数値から平成31年度の目標値に向けて上昇しているもの。  
▼…成果指標のうち、指標設定時の数値から平成31年度の目標値に向けて下降しているもの。